

# 平成 24 年度事業計画

## 事業計画策定の基本方針

### 1. 法人運営

- ( 1 ) 当サービスセンターは、平成 24 年 4 月 1 日から公益財団法人堺市勤労者福祉サービスセンターとして新たなスタートを切る。公益目的事業として今回認定された中小企業勤労者等の福利厚生事業と勤労者等のための施設の管理運営事業を通じて、勤労者福祉の向上という原点に立ち返り、公益法人移行の初年度として円滑な事業運営と適切な経営管理を推進し、次年度以降の一層の発展をめざすための土台造りの年とする。
- ( 2 ) 堺市の外郭団体改革方針でも示されている経営の自立化は、当サービスセンターが将来的にも継続、発展していくための重要課題である。自立化推進計画に沿って、今後、堺市の補助金に依存しない、自立的な経営ができるよう強い法人体質を築くことをめざす。

### 2. 中小企業勤労者等の福利厚生事業

- ( 1 ) 会員拡大は、堺市内のより多くの中小企業勤労者に大企業並みの福利厚生を提供するという目的から、また、安定的な収益を得るうえにおいても極めて重要なテーマである。平成 24 年度から個人会員の入会を認めていく中で、具体的な推進計画を立て年間目標の達成のために広報活動を展開する。
- ( 2 ) 魅力ある福利厚生サービスをめざして、昨年実施したアンケートを詳細に分析し、課題と会員ニーズを的確に捉え、きめ細かな事業展開を図る。
- ( 3 ) 大阪府下の広域利用会員サービス「おおきに net」が 4 月からスタートする。今後の「おおきに net」の発展は、会員サービスの向上につながるため、当サービスセンターがリーダーシップをとりながら一層の拡充を進めていく。さらに会員サービス向上のために、(財)大阪労働協会や(社)全国中小企業勤労者福祉サービスセンターとの連携を強化する。

### 3. 勤労者等のための施設の管理運営事業

- ( 1 ) 平成 25 年度のサンスクエア堺の指定管理者の選定は、一般公募になる予定である。当サービスセンターとしては、公募に対応できる経営基盤の強化が必要であり、一層の効率的な管理運営が求められる。
- ( 2 ) 利用者サービスの向上をめざし、ニーズを的確に把握するべく、毎年実施している CS アンケートを分析し、改善要望や意見等を積極的に取り入れ対応していく。その一環として平成 24 年度から既存の堺市の施設予約システムに参入し、利用者の利便性とサービス向上に努める。
- ( 3 ) 稼働率の向上はサンスクエア堺の重要な課題である。サンスクエア堺の知名度をアップさせるため広報活動は重要であり、あらゆる広報媒体を利用して進める。また、評価の高いサンスクエアホールの有効かつ広範的な利用や顧客台帳の整備を行いリピーターへの情報提供等、利用者へのアプローチを図り施設稼働率の向上に努める。

## 重点項目

### 1. 法人運営

- (1) 公益財団法人としての事業経営
  - 公益法人移行後の円滑な事業運営と適切な経営管理
  - 新公益法人名の周知と対応
  - 新名称による新会員証の作成、配布
- (2) 自立化推進計画の実行
  - 平成 24 年度版自立化推進計画の策定と推進
  - 経費の節減と新規事業の収益向上

### 2. 中小企業勤労者等の福利厚生事業

- (1) 会員拡大目標の達成
  - 今年度目標の達成 (15,000 名)
  - 退会抑止策の強化
- (2) 魅力ある福利厚生サービス
  - 慶弔給付事業等の改定の対応
  - 新しい事業企画の策定推進
  - アンケートの結果を踏まえた事業展開
- (3) 大阪地区広域化事業の推進
  - 府下広域サービス「おおきに net」の開始と契約施設の拡充
  - 泉州、河内地区 7 市共同事業の充実

### 3. 勤労者等のための施設の管理運営事業

- (1) サンスクエア堺の経営基盤の強化
  - 平成 25 年度公募に対応した経営基盤の強化
  - 委託管理事業費の効果的、効率的な執行管理
- (2) 利用者サービスの向上
  - CS アンケートの実施と改善活動
  - 施設予約システム参入による情報サービスの提供
- (3) 稼働率の向上
  - PR 活動の積極的な推進
  - ホール利用等新企画による事業の展開
  - 顧客台帳の整備によるリピーターへのアプローチ

## 会員数

### 1. 会員の状況

	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度 (3月1日現在)	平成 24 年度 (目標)
年度初	12,424 人	12,628 人	12,824 人	13,401 人	14,250 人
入会者数	2,268 人	1,876 人	2,054 人	2,312 人	2,250 人
退会者数	2,064 人	1,680 人	1,477 人	1,346 人	1,500 人
実質増加数	204 人	196 人	577 人	966 人	750 人
年度末会員数	12,628 人	12,824 人	13,401 人	14,367 人	15,000 人
年度末事業所数	1,223 事業所	1,269 事業所	1,360 事業所	1,428 事業所	1,500 事業所

平成 24 年度は、目標とする会員数。

## 中小企業勤労者等の福利厚生事業

中小企業が単独では実施しがたい福利厚生を、スケールメリットを活かし豊富なメニューの中から会員のニーズに合わせて提供する。

### 1. 広報事業

未加入事業所に対して財団の設立趣旨及び事業内容について広報活動を行い、加入促進を図るとともに、会員に対してガイドブック、会報誌等を発行して情報提供を行う。

#### (1) 情報提供

項目	内 容	発行(配付)部数
ガイドブック	事業内容及び利用方法等を記載した冊子	18,000 部
SCK ニュース	イベント・教室等の主催事業、各種チケットあっ旋などを中心に掲載した会報誌	15,000 部
グルメガイドブック	会員証提示で割引利用（5%～20%割引）できる堺市内、堺市近郊、大阪市内の飲食店を記載した冊子	17,500 部
ホームページ	事業内容・最新情報の掲載、事業周知。	60,000 アクセス

#### (2) 加入促進関係

内 容	時 期
会員拡大推進員による会員勧誘活動	通年
未加入事業所紹介者への報奨金支給制度	通年
南海バス後部ラッピング広告（3台）	通年
堺ブレイザーズとのコラボレーション	通年
PRグッズの活用	通年
未加入事業所へのダイレクトメールの送付	随時
広報さかい、堺商工会議所会報、情報誌等へ広告掲載	随時
会員拡大月間の設定	9月～11月
堺大産業祭アドバルーン	10月

## 2. 慶弔給付事業

慶弔給付金として、各種祝金、弔慰金、見舞金及び加入年数に応じた永年在会慰労金等を支給する。

給付の種類	内 容	給付額	給付見込件数
結婚祝金		20,000 円	320 件
結婚記念祝金	25 年	10,000 円	110 件
	50 年	10,000 円	10 件
出産祝金		10,000 円	460 件
入学祝金	小学校	10,000 円	450 件
	中学校	10,000 円	450 件
還暦祝金		5,000 円	180 件
入院見舞金	10 日～29 日	10,000 円	150 件
	30 日～49 日	30,000 円	40 件
	50 日～	50,000 円	40 件
障害見舞金	1～3 級	90,000 円	20 件
	4～6 級	45,000 円	10 件
死亡弔慰金	会員	70,000 円	30 件
	配偶者	30,000 円	20 件
	実父母	10,000 円	450 件
	子	30,000 円	20 件
永年在会慰労金	5 年	5,000 円	1,000 件
	10 年	5,000 円	600 件
	20 年	10,000 円	200 件
計			4,560 件

## 3. 生活安定事業

会員及び家族の在職中の生活安定を図るため、団体契約により安価な掛金で契約できる保険のあっ旋及び顧問弁護士による無料法律相談を行う。

内 容	時 期
全労済の「こくみん共済」「マイカー共済」の案内	通年
全福ネット入院あんしん保険	通年
顧問弁護士による無料法律相談	通年

#### 4. 健康管理事業

会員の健康維持を図るため、法定定期健康診断、全国健康保険協会管掌健康保険一般健診、人間ドック等の補助を行う。また、会員及び家族の健康増進を図るため、健康ウォーキングなど事業の実施、及び会員制スポーツクラブへの法人加入を継続する。

内 容	利用見込人数
法定定期健康診断補助（事業所対象）	3,000 人
協会けんぽ一般健診補助（事業所対象）	1,000 人
人間ドック・定期健康診断補助（個人対象）	350 人
健康ウォーキング（春・秋）	90 人
健康セミナー（主催事業）	90 人
スポーツクラブ法人会員	2,000 人
計	6,530 人

#### 5. 余暇活動事業

余暇活動の充実を図るため、レクリエーション事業を実施する。また、指定の宿泊施設を利用する場合の宿泊料金の一部補助や指定の映画館、遊園地等を利用する場合の利用料金の割引及び補助を行う。

##### (1) 主催事業

時 期	内 容	募集人数	備 考
4 月	軟式野球大会	150 人	10 チーム
5 月	ボウリング大会	60 人	20 チーム
6 月	ビジネスマナーセミナー	40 人	
7 月	ビアパーティ	200 人	
7 月	夏休み親子料理教室	60 人	
10 月	ソフトボール大会	300 人	20 チーム
10～12 月	ゴルフ教室	30 人	
11 月	ファミリーイベント	200 人	
11 月	ボウリング大会	60 人	
12 月	クリスマスケーキ教室	40 人	
2 月	ソフトバレーボール大会	128 人	16 チーム
2 月	テーブルマナー教室	40 人	
未定	フリーマーケット他イベント （カヌエア フェスティバル同時開催）	80 人	35 ブース
未定	おおきに net 事業	30 人	
未定	泉州・河内（7 市）SC 共同事業 （3 回）	80 人	
	計	1,498 人	

## ( 2 ) チケット方式事業

時 期	内 容	募集人数	備 考
4～5月	ジェフグルメカード	500人	5,000円分
7～8月	ピアガーデンチケット	500人	
10～12月	指定店共通利用券	500人	5,000円分
	計	1,500人	

## ( 3 ) 推奨旅行事業

時 期	内 容	募集人数
未定	宿泊付個人旅行(2回)	100人
未定	日帰りバスツアー(7回)	300人
	計	400人

## ( 4 ) 利用補助事業

時 期	内 容	募集人数
未定	USJ アカウントクーポン	1,000人
9～10月	船釣り	200人
未定	味めぐり(8店舗)(4回)	800人
	計	2,000人

## ( 5 ) 施設利用補助及び施設割引利用

内 容	見込人数
宿泊補助 旅行社、全国のホテル・旅館等と宿泊補助契約 年度補助(会員)・・・年度3泊まで 1泊2,000円補助 年度補助(登録家族)・・・年度3泊まで 1泊1,000円補助	  2,000泊 2,000泊
ゴルフ場利用補助 近郊のゴルフ場(16施設)と補助契約 会員・・・年度4回まで1回2,000円補助	 600人
SCK チケット 4月または入会時に全会員に配布する施設利用補助券 映画館(2館) スケートリンク(1施設) レジャー施設(9施設) スーパー銭湯・スパ(10施設) 味覚狩り(5施設) プール(4施設)	 3,800人 100人 6,850人 30,000人 600人 12,000人

<p>チケットあつ旋</p> <p>各種チケットを SCK ニュース等であつ旋</p> <p>TOHO シネマズ</p> <p>スポーツ観戦(プロ野球、Jリーグ、Vリーグ他)</p> <p>コンサート・観劇</p> <p>レジャー・文化施設</p> <p>チケットぴあ(アフター5クラブ)取扱チケット</p>	<p>2,000 人</p> <p>2,600 人</p> <p>1,500 人</p> <p>500 人</p> <p>300 人</p>
<p>会員証提示</p> <p>宿泊・旅行・冠婚葬祭、レジャー施設、風呂・リラクゼーション、</p> <p>スクール・学校・教室、グルメ、生活関連、住宅関連、オフィス</p> <p>関連等</p>	<p>通年</p>

( 6 ) 購買あつ旋

<p>百貨店(高島屋、阪神、近鉄、阪急)のお買物優待券の発行。</p> <p>家庭用常備薬を格安価格にてあつ旋。(年3回)</p>
---

( 7 ) 全福ネット

<p>「社団法人全国中小企業勤労者福祉サービスセンター」(略称：全福センター)がスケールメリットを活かし、全国のサービスセンターの会員が全福センターのメンバーとして利用できる豊富なサービスを提供</p> <p>(平成23年4月現在：正会員199団体加盟)</p>
---

( 8 ) 財団法人大阪労働協会

<p>「財団法人大阪労働協会」(略称：大労協)がスケールメリットを活かし、大阪府下のサービスセンターの会員が大労協のメンバーとして利用できる豊富なサービスを提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊補助(年度3泊まで 1泊会員1,500円 家族1,000円)</li> <li>・スポーツクラブ法人会員</li> <li>・人間ドック補助 等</li> </ul> <p>(平成24年4月予定：正会員17団体加盟)</p>
---

( 9 ) おおきに net

<p>個々のサービスセンター単独では展開できない事業への取組みや、既存事業のさらなる拡充を図るため、大阪府下22のサービスセンターが平成23年9月15日「大阪地区勤労者福祉事業拡充委員会」(愛称：おおきに net)を設立し、平成24年4月1日からサービスを提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おおきに net 割引協定特約施設一覧の作成及び配布(全会員)</li> <li>・会員証貼付用おおきに net ロゴシール配布(全会員)</li> </ul> <p>(平成24年4月予定：21団体加盟)</p>
--

#### 6. 自己啓発事業

会員の能力向上、スキルアップ等をめざして、サンスクエア講座や提携機関の各種講座を受講した場合には、その受講料の一部を補助し、会員の自己啓発活動を支援する。

内 容	利用見込人数
サンスクエア講座、通信講座、教育機関の各種講座の受講料補助	100人

#### 7. 老後生活の安定事業

中小企業で働く従業員の老後生活の安定を図ることを目的に国が一部助成する退職金制度「中小企業退職金共済（中退共）」制度への加入あっ旋を行う。また、老後生活に役立つセミナー等を実施する。

内 容	利用見込人数
中小企業退職金共済（中退共）制度	50人
年金等セカンドライフセミナー（主催事業）	30人

#### 8. 財産形成事業

会員の計画的な財産づくりを援助するため、財形貯蓄の情報提供と事務代行を行う。

内 容	利用見込人数
一般財形	90人
年金財形	30人
住宅財形	5人

#### 9. その他補助事業

##### (1) サンスクエア堺 利用料金補助制度

サンスクエア堺を利用したとき、利用料金の一部を補助。

##### (2) 他府県事業所会員特別補助制度

他府県に勤務する会員は堺市近郊に勤務する会員に比べ事業の一部を利用できない等の不利益が生じるため、これを是正するための制度。

当該会員1人につき年1回2,000円相当の補助

## 勤労者等のための施設の管理運営事業

勤労者の教養及び文化の向上、労働団体の健全な発展に資するために設置された「堺市立勤労者総合福祉センター（サンスクエア堺）」の指定管理者として管理運営業務を行う。

サンスクエア堺は、指定管理者として利用者ニーズを把握して施設運営に反映させていくため、施設の利便性の向上につながる改善要望や貸室等への案内標示、職員の対応や苦情・相談の姿勢、利用料金や貸出器具等の充実度等について利用者の声を聞き取るCSアンケートを毎年11月に実施している。

また、サンスクエア堺の知名度アップを図るためにホームページや広報さかいをはじめ各種広報媒体を利用してPRに努めている。また、1.7秒の残響を誇るコンサートに優れたサンスクエアホールに著名な音楽家等を招聘している。

平成24年度も平成23年度と同様に貸館・貸室等の施設管理運営事業と指定管理者として独創性をもった自主事業等を実施する。これらの実施にあたりこれまで以上に利用者の目線を意識し、ニーズに合うように創意工夫していく。

その一環として堺市の施設予約システムへの参入と受付事務のスリム化を図り効率的な運営体制にするとともに顧客台帳の整備を行い、リピーターへの情報提供など利用者に満足していただけるようサービスの向上に努め、施設稼働率の向上を図る。

### 1. 施設管理運営事業

施設管理業務及び講演会、研修会、音楽会、教養文化、スポーツ、会議利用等のための貸館業務を行う。

内 容	利用見込人数
会議、ミーティング、サークル活動、スポーツ 他	160,000人

### 堺市施設予約システムへの参入（10月稼働の予定）

堺市のホームページを介して、既に市内の文化館等で稼働されている「堺市施設予約システム（空き情報閲覧のみ）」に参入して、サンスクエア堺の施設案内を行う。利用者が来館しなくても家庭や職場等で貸館・貸室の空き情報を得ることができ、利用者サービスと稼働率の向上に寄与する。

### 2. 自主事業等

施設の利用促進や利用者サービスの向上につながり、併せて施設の知名度アップを図るために自主事業を行う。

#### (1) サンスクエア講座

勤労者等の教養文化活動を促進するため、花道、茶道、パソコン等の講座を実施する。

講座内容	募集人数
教養文化講座、健康増進講座、自己啓発講座 他	650人

(2) お年玉コンサート

勤労者及び市民に音楽ホールとしての「サンスクエアホール」の周知と利用促進のためコンサートを開催する。

内 容	入場見込人数
コンサート	400 人

(3) サンスクエア フェスティバル(利用者発表会)

サンスクエア堺で自主的な活動を行っている団体等の発表会を開催する。

内 容	入場見込人数
舞台発表、作品展示、お茶席 他	800 人

3. 顧客台帳の整備とリピーターへの情報提供サービス等の向上

顧客台帳を整備することによりリピーターの把握を行い、サンスクエア堺の各種情報等を定期的に提供し、サービスの向上と利用促進を図る。